

都 民 等 か ら の ご 意 見

1 基本方針に関するご意見について

項 目	ご意見	関連ページ
ライトアップの現状と問題点	<ul style="list-style-type: none"> ○一部の区画では、ライトアップの氾濫により明るさ競争のような状況が生じており、エネルギーの浪費に繋がっているものだけでなく、ライトアップそのものの効果も低減されている。 ○東京 2020 大会を短期目標としていることに違和感。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップの問題点(P4)
ライトアップを進める上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ○一定基準で配光制御のルール作りをしてもらわないと自宅近くでライトアップが実施されることになった場合、生活に影響が出る。 ○道路沿いのイルミネーションの場合は、よそ見運転の心配があるので、適当な基準があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光害による人間等への影響(P6) ・光害による交通機関への影響(P6)
	<ul style="list-style-type: none"> ○既に人工照明による動植物への悪影響が及んでいる事例は無数あるので、これ以上増やすべきでない。 ○光害の整備や対策も同時進行で進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光害による動植物への影響(P6)
	<ul style="list-style-type: none"> ○夜空の方向への漏れ光は、夜空の明るさを増加させ星が見えにくくする原因である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光害による夜空の明るさへの影響(P6)
	<ul style="list-style-type: none"> ○LED や太陽光などを利用する省エネルギー化は効率的で賛成。 ○時間帯に応じて照明の点灯状態をコントロールする技術も積極的に導入し、省エネルギー化を進めることも必要である。 ○国際的に評価されるのは無駄なエネルギーを使用しない持続可能な都市。 ○バイオ燃料を使うことで更にコスト削減ができると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技術による省エネルギー化と再生可能エネルギーの利用(P7)
	<ul style="list-style-type: none"> ○成果が数値等で見えにくいのが、都民への説明、費用対効果の意識が必要。 ○経費（税金）はいくらが妥当かアンケートを実施し、その結果を載せるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップの効果検証(P10)
	<ul style="list-style-type: none"> ○海外の人がどう思っているのか、ライトアップに対し魅力を感じるのかも考慮する必要がある。 ○公共施設の照明で夜景が向上し、観光客の増加や満足度向上に寄与するか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源としての夜間景観(P11~P13)

基本的な考え方	○コンセプトⅠの「光害防止・省エネルギー」は、演出照明においても配慮すべき観点である。	・図 23「コンセプトに基づくライトアップの取組イメージ」(P14)
	○対象施設の「河川」「公園」等には、多くの生物が生息している。計画時には周辺の生態系を調査し、影響を最小限に抑える配慮が必要。	・周辺環境に配慮した設置(P15)
	○演出上の必要性がある場合を除き、上方光束がゼロである照明器具を使用することが望ましい。	・光害の防止(器具の配置・器具配光)(P16)
	○一般的に、低い色温度の光は、落ち着いた雰囲気演出する。	・色温度(P17)
	○夜景の美しさは空間的なゆとり、闇との対比があつてのもの。	・光と影のバランス(P17)
	○「アウェアネスカラー」運動に対応できる照明の勧めも検討してほしい。 ○「ピンクリボン」のように社会的啓蒙活動と連動した期間限定ライトアップも悪くない。	・演出照明方法等(P20) ・演出方法の例③アウェアネスカラーライトアップ(P22)
	○イベント性が強いので、ライトアップをしている場所には遊びに行きたくなる。 ○都庁ライトアップで、イベント等のPRを行うことは、SNSなどを見ると都民に認識もされている。	・演出照明の効果(P23)
	○民間企業や商店街とのタイアップ、居場所ができる、治安が良くなることなど何かしら周辺都民に利益があることが望ましい。	・ライトアップ施設とにぎわい施設のタイアップ(P24)
事業の推進方策	○様々なエリアを取り入れて、お台場・東京湾以外でも夜景を楽しめるようにしても良いと思う。 ○観光客が多く集まる人気のエリアを重点エリアとするのはとても良い。エリアが集まっていることによって、いくつも巡ることができるので、観光もしやすいと思う。 ○隅田川の橋を、ほとんどすべてライトアップする意味が正直よくわからない。 ○水上バスの運行ルートである護岸沿いをライトアップさせて、船の光の道を演出してはいかがか。東京の水辺の魅力向上と水上バスの収益アップも期待できる。	・重点エリアにおける取組(P26~P37)

2 その他、様々なご意見等（ご要望、ご提案を含む）について

- 「公共施設等の夜間景観演出による魅力向上の基本方針」という名称へ変更してはいかがか。
- 都庁舎のライトアップをもう少し工夫しても良いと考える。オリンピックカラーの色をもう少しきれいな色に変える、プロジェクションマッピングの活用など。新宿中央公園の木々をライトアップさせるなども良い。
- 省エネという観点は含まれているが、結果的に電力を消費するので、原発問題等もあることを含め、考慮が必要。
- 震災後の薄ら明かりが良かった。キラキラネオンはいらない。
- 民間がこれだけ照明を使用している東京で、公共施設まで照明を増やすことに何の意味があるのか。
- 今でさえ無駄に明るいのに、これ以上ライトアップは不要である。
- 明るすぎるので、特別なときだけライトアップをしたら良い。
- イルミネーションスポットの増加を歓迎する。
- 機能照明は通行量などに応じ、安全上問題ない場合には深夜の減灯・消灯を検討すべきである。
- ビルが密集した東京はほかの都市を真似るのではなく、東京らしい姿をみせればよい。
- 東京五輪に訪れる外国人観光客のためであれば、照明よりも大気質の改善、道路や公衆便所の清浄化、緑地の拡大など環境に優しい持続可能な都市に変貌するための取組を進めるべき。
- 都全体の景観の対応も必要。